

我ら、山県市 地域おこし 協力隊！⑫

いし じま まい
石島 舞



緑の多い山県で、食事の大切さや農業について学びたい。

石島舞さんは、そんな思いを胸に昨年9月、地域おこし協力隊員として山県市にやってきた。

石島さんは、生まれも育ちも名古屋市。繁華街へは公共交通機関ですぐ、生活範囲内には大型スーパーやショッピングモールがよりどりみどりとおりという、便利な環境で暮らしていた。仕事はデパートやショッピングモールでの販売職。しかし、次第に消費一辺倒の街での暮らし方に空虚さを感じるように。また、自身の体調が優れなかったこともあり、食事の大切さや農業に興味を持ち、緑の多い環境に身を置きたいという思いで戸地区に移住してきた。

山県市を選んだきっかけは？

都会の暮らしに空虚さを感じて移住先を探していた中で、幼少期にキャンプでよく来ていた岐阜、その中でも自分の希望条件に当てはまったのが山県市です。移住を検討するにあたり、約1年間何度か見学やイベントに参加しましたが、決め手となったのは地域の方の優しい人柄でした。

移住して4カ月。生活面ではご近所の方に恵まれ、思っていた以上に快適な「田舎生活」を満喫しています。

どんな活動をするの？

地域おこし協力隊の活動としては、北山の農家レストラン「舟伏の里へおんせえよお」のお手伝いを主に行っています。決して楽とはいえないであろう北山での暮らしですが、そこに暮らす人々の明るさやたくましさ、生活の知恵は見習いたいと思うことばかりです。

また、地元の作物を生かしたお土産などに活用してもらえる特産品を作りたいとも思っており、あれこれ考えています。

これからの目標は？

過疎化や獣害など、解決したい問題は山のようにあり、自分一人の手に負えるものではありません。ですが、これから出会う出来事や人と真摯に向き合っていくことで、ひとつふたつ、小さなことかもしれませんが良い方向へ進めていくことを目標に進進していきます。

地元の人と一緒に、山県市の作物を活用した特産品などを作り、地域の活性化に取り組んでいきたいと語ってくれた。

編集後記

今月は、表紙の写真を古城山の展望台で撮影しました。撮影当日、まだ星空がきれいな中、市役所を出発。空気が澄んだ冬の早朝はとても寒く、また真つ暗な登山道を歩くのも大変でした。しかし、はるか雲の隙間から太陽が顔を見せ、オレンジ色の朝日が市内を照らす景色を見たら、寒さも眠気もどこかにいってしまいました。新春にふさわしい日の出を皆さんにお届けできて良かったです。(Y)

明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大により多くのイベントが中止になるなど、日常生活が一変した年でした。

今月号の文化財コラムにある左義長は、無病息災を願う行事でもあります。担当者からコロナ収束を願う思いを込めて原稿をもらいました。

一日も早く日常生活に戻り、皆さんの笑顔を撮影できる日がくることを心待ちにしています。(S)

広報
山県

Kouhou
YAMAGATA

発行 山県市
〒501-2192
岐阜県山県市高木1000-1

編集 企画財政課
Tel 0581-22-6825
Fax 0581-27-2075

URL <https://www.city.yamagata.gifu.jp/>
E-mail info@city.gifu-yamagata.lg.jp



大豆油を含む植物油を使用した
インキで印刷されています。

UD
FONT
by MORISAWA